

事業実績書

団体名

おおどのコミュニティ協議会

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

働くところがあり、心豊かに暮らし続けることができるまちづくり

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	連携強化とつながる活動の推進		
	事業名	地域情報の発信と広報活動事業	決算額	849,508円
		地域の地縁の輪づくり事業	決算額	531,357円
		地域コミュニティ推進事業(つながり)	決算額	39,729円
②	視点	地域個性創出		
	事業名	伝統文化の保存継承事業	決算額	64,436円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)		自己評価
①連携強化とつながる活動の推進 ■地域情報の発信と広報活動事業 各町内会をはじめ各団体との連携強化や情報共有を図るため、「チーム大殿」の視点での広報紙の一元化をし「地域情報みんなのおおどの」として発行及びホームページの定期更新に努めた。地域の皆さんの意見を拾う取り組みとして、やまぐち21元気ミーティングへの意見を募集。広報紙を通じた地域コーディネートでの在り方を引き続き模索していく。 ■地域の地縁の輪づくり事業 「2025つながる大殿七タちようちん」では、町内会ちようちんの数を増やすことができた。八坂神社にやかたちようちんを設置し、ちようちんサポーターやボランティアスタッフを募集して、地域の方が参加し、皆でちようちんまつりを盛り上げた。「お家で軒先ちようちんを飾ろう」では、軒先ちようちん70セットの協賛をいただいた。 ■地域コミュニティ推進事業(つながり) ①庭木の学校(5月、10月)実施。5年前から実施している「大殿マイスター検定(庭木の管理編)認定試験も続けている。②里山の学校(11月)は、近くの山は少ない、場所を決めるのが難しい、参加者・スタッフ不足という理由から中止。③ボランティアの学校では、つながる大殿七タちようちんにおいて実証実験としてボランティアの募集を行った。④「消防出初式見学会」を予定していたが、天候不良により屋外行事等が中止となったため見学会を中止。来年度も継続できるように、行事の内容を充実したものにしたい。		◎
②地域への愛着を深めてもらう事業として、「地域のお宝学習会」を実施。第1回「西のお伊勢様 山口大神宮を訪ねる」日本で唯一伊勢神宮から勧請されて造られた特別な建物、下宮・内宮を見学。第2回「大殿の魅力再発見」として、長い歴史の中で庶民に息づく独自の風習や行事など多くの魅力に溢れている大殿を紹介。第3回は「幕末維新期の萬代家を中心に」をテーマに、幕末期、長州藩主毛利敬親が、萩から山口へ藩庁を移した際、十朋亭が藩の役人たちの宿泊所となり、当主・萬代利兵衛が志士達の活動を支援していたことなど。今後も、地域の歴史をより深く知っていただくため学習会を開催し、地域のお宝(歴史、文化、祭り)を再発見しながら大殿地域の魅力を広めていきたい。		◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第6期大殿地域づくり計画の2年目にあたり、各部会の年間事業予定に沿って会議を開き、皆で協力し事業を進めることができた。専門部会(あんぜん部会・やすらぎ部会・にぎわい部会)と運営委員会の位置づけとして、

- ・専門部会は、地域課題一つ一つの視点を明確にしてその解決策を協議、検討する。
- ・運営委員会は、地域内の連携強化のため「まず知り合うことから」というスタンスで協議を重ねている。

基本目標の「はたらくところがあり」に込めたやりがいやいきがいにつながるよう、地域住民に幅広い参加を促すタイムリーな情報発信に努めた。

地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらう、参加してもらう、参画してもらう、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していきたい。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5,789,104円(うち自主財源1,211,109円)
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務局員:3名 (運営費の主な内容) 事務局人件費及び事務費 (成果・評価) 業務の見直しと効率化をはかるため、キントーンを導入。今年は、平行作業となったが、事務のスリム化ができるよう運営に努めた。 (今後に向けて)「チーム大殿」構想に向けた中間支援として、誰もが担える事務局を目指したい。

(2) 地域振興

事業名	地域情報の発信と広報活動事業
事業費	849,508円(うち自主財源380,000円)
事業概要	(実施内容) ホームページの定期更新。広報紙「地域情報みんなのおおどの」発行。 (実施時期) 令和7年4月～令和8年3月 (参加人数) 182人 (成果) 事業の告知・報告のほか、地域の各団体からの情報を発信できた。紙面を通じ、やまぐち21元気ミーティングへの意見募集など地域の皆さんの参画を促した。 (評価) 広報紙「地域情報みんなのおおどの」発行。事業目的の共通理解にたつて年度ごとの「到達点」を明確にし、段階を踏んだ調整を進めていく必要がある。 (今後に向けて) 地域の皆さんを巻き込んだ情報発信のありかたを引き続き検討していく。

事業名	地域行事の活動支援事業
事業費	345,238円
事業概要	(実施内容) ほたる鑑賞week! ほたる祭り、大殿ふるさとまつり活動支援(委託費等)、二十歳の皆さんへ集合写真と記念品。 (実施時期) 令和7年5月～令和8年2月 (参加人数) 500人 (成果) 地区住民の参加意識の醸成の一助になっている。 (評価) 実行委員会や関係団体との連携を意識づける機会となった。 (今後に向けて) 事業を通じた連携強化や住民の参加意識の醸成を図っていきたい。

事業名	地域の地縁の輪づくり事業
事業費	531,357円
事業概要	(実施内容) 地縁の復活をめざして取り組んでいることを実行委員会で共有し、各町内会に「大殿七夕ちょうちん」と八坂神社にやかたちちょうちんを設置。「お家で軒先ちょうちんを飾ろう」と呼びかけた。ちょうちんサポーターやボランティアスタッフを募集して、地域の方が参加しみんなでちょうちんまつりを盛り上げた。 (実施時期) 令和7年7月～令和8年2月 (参加人数) 230人 (成果) ちょうちん事業では、各町内会「大殿七夕ちょうちん」の設置と、軒先ちょうちん70セットの協賛をいただいた。飾った写真を送ってもらい、HPで軒先ちょうちんギャラリーとして発信することができた。 (評価) 各町内会に「大殿七夕ちょうちん」を呼びかけた。また、「軒先ちょうちん」も地域の皆さんの協力が得られた。LEDライトを使用してもらい、火事が起こらないよう安全に配慮した。 (今後に向けて) 会員による事業運営から住民を巻き込んだ事業運営にシフトしていくという視点も入れた協議を深めるとともに、参加しなくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。今後も八坂神社にやかたちちょうちんを設置し、ちょうちんサポーターやボランティアスタッフを募集して、地域の方が参加しみんなでちょうちんまつりを盛り上げていきたい。

事業名	地域コミュニティ推進事業
事業費	540,206円
事業概要	(実施内容) 町内会を中心とした関係団体との連携強化。活動拠点の充実。 (実施時期) 令和7年4月～令和8年3月 (参加人数) 500人 (成果) 話し合い意識の醸成が図られ、組織運営が強化されてきた。各団体との連携強化や事業見直し・統合に向けた会議を開催した。 (評価) 参画した実感のある会議運営の更なる工夫が必要。また、各団体の得意分野や困りごとなどを共有し、「チーム大殿」を意識した活動へつなぐ視点や仕掛けが必要。 (今後に向けて) 参加者が「チーム大殿」を意識した活動へつなげる視点が持てるような会議運営を模索していく。

事業名	地域コミュニティ推進事業(つながり)
事業費	39,729円
事業概要	(実施内容) 研修事業の実施 (庭木の学校5月・10月、里山の学校(山登り)中止、消防出初式見学会1月中止、ボランティアの実証実験8月) (実施時期) 令和7年5月10日・10月11日 (参加人数) 100人 (成果) 5月・10月に実施した庭木の学校では環境美化活動ができた。里山の学校と消防出初式見学会は中止となった。ボランティアの実験として、ちょうちんまつりで、火入れサポーター、ボランティアスタッフを募集した。 (評価) 研修事業は新たな参加者を巻き込むための学校シリーズ(多様なメニュー)の検討や参加者同士の交流を深める工夫も必要。健康維持を目的に参加できるものなど。 (今後に向けて) 引き続き、地域の良さや魅力の再発見と新たな人材の巻き込みにつながる事業を目指して、まちづくりを知ってもらう、参加してもらう、参画してもらう、それぞれの段階で関われるメニューを用意するなど、会員が支える事業から、住民が参画する事業へシフトしていく仕掛けを検討していく。

事業名	助成金交付事業
事業費	717,000円
事業概要	(実施内容) 地域づくり計画に掲げた課題の解決につながる事業を実施する12団体(新規2団体を含む)に助成金を交付した。 (実施時期) 令和7年4月～令和8年3月 (参加人数) 68人 (成果) 厳正な審査の実施及び次年度募集への申し送り事項が整理できた。 (評価) 事業の事前告知で申請しやすい仕組みづくりに努めた。また、わかりやすく、評価しやすい申請書とするため、提出書類を新様式に変更した。交付金額の上限額を上げたが、予定を下回った。 (今後に向けて) 募集案内や審査委員の見学結果などを発信し、地域での認知度を高めるよう工夫していく。評価を適切にするため、申請様式の見直しをした新しい申請書を使用した。

(3) 地域福祉

事業名	三世代交流事業 ペタンク大会
事業費	79,232円
事業概要	(実施内容) 三世代交流事業として令和7年度「大殿ペタンク大会」を開催。 (実施時期) 令和7年12月7日 (参加人数) 35人 (成果) 令和7年度「第9回大殿ペタンク大会」は、事前にわくわくチャレンジ教室に組み込んでペタンク体験会を実施。大会当日は、スタッフは進行、タイムキーパー、審判、記録など役割分担もスムーズに運用できた。全6チームで、2リーグに分かれそれぞれ総当たり戦を行った。昨年の大会後に作成した「大殿ペタンク大会」の旗を掲げての最初のペタンク大会となった。参加をしてくれている子たちもずいぶん上達して白熱のゲーム展開となった。 (評価) 三世代交流事業として、参加者が楽しく交流できる場になってきている。 (今後に向けて) 引き続き、子どもたちの参加を促すため「わくわくチャレンジ教室」との共催や体験会を視野に実施していく。

事業名	三世代交流事業 カローリング体験会
事業費	7,200円
事業概要	(実施内容) カローリング体験会 (実施時期) 令和7年12月7日 (参加人数) 15人 (成果) 大殿ペタンク大会と同日、同会場で、カローリング体験会を開催しました。ペタンク大会の合間に、待ち時間を利用して、カローリングという競技を体験してもらい競技やルールなどを知る機会ができた。 (評価) まずは部会員が体験会をして覚えていく。今年は1回しかできなかった。思ったよりも難しかったが楽しめた。 (今後に向けて) 部会員がルールを把握し、楽しく交流できる場を考える。次年度は子どもの参加を呼びかけ、多くの人に知ってもらえるように準備をしたい。今後は大会も視野に考えていく。

事業名	健康づくり事業① 健康ウォーキング事業
事業費	66,409円
	(実施内容) 三世代交流事業として健康ウォーキングを実施。 (実施時期) 第1回令和7年6月8日、第2回令和7年11月2日、第3回令和8年1月25日 (参加人数) 62人
事業概要	(成果) ◆第1回:～香山公園～普門寺～亀山公園山頂広場:五重塔を回って洞春寺、大神宮を通り、亀山へ到着した。雨の気配があり、急いで交流センターへ戻り昼食をとった。 ◆第2回:天台宗法聞寺～普門寺～木戸神社(昼食):法聞寺本堂には左右の階段があり、右は僧侶が上り、一般客は左を上る。本尊は不動明王で、本堂の上には護摩堂があった。県知事公舎跡にて昼食を取り、毛利元就の菩提寺洞春寺から、本堂裏手にある井上馨分霊塔、日産コンチェルンの創業者鮎川儀介分霊塔を参拝。最後に重要文化財の観音堂を参拝した。 ◆第3回:袖解橋(井上馨遭難の地)～鰐石の重岩～大内弘幸の墓～古熊神社～善生寺:石州街道とは周防国・長門国から石見国へ向かう街道の総称で、今回は歴史色の強いルート。街道の一部の商店街アーケードを抜け最初の目的地の袖解橋(井上薫遭難碑)から榎野川の船着き場として使われていた鰐石の重岩を経由して最後は古熊の善生寺へ。お寺への長い階段を登りきった先には、雪舟が造ったとされる庭園が待っていた。 (評価) 誰でも気軽に健康づくりに取り組めるように企画したウォーキング事業は、事業の目的と参加の意欲とのマッチングがうまくできた。 (今後に向けて) 継続実施や回数を増やしていくために、健康づくりへの意識づけや参加者同士の交流の持ち方を工夫していく。親子ペアでの参加等で、子供の参加を増やしていくことが課題。

事業名	健康づくり事業②介護学習会
事業費	6,001円
事業概要	(実施内容) これからの介護を考える～介護保険のしくみと“自分ごと”としての備え～ (実施時期) 令和8年2月1日 (参加人数) 50人 (成果) 介護保険制度って？！今、介護の現場はどうなっているの？介護を受けない生活をめざしたい!! をテーマに学習会を開き、複雑な介護保険の仕組み、申請から利用までの流れを中央包括支援センターの方に教えていただきました。 (評価) これからどんな生活がしたいと思っているか、具体例を見ながら考えることができた。健康と要介護の中間の状態をフレイルという。そのまま放置すると要介護状態になる可能性が高くなる。早めに気づき、適切に行動することで、健康な状態に戻ることが出来ます。高齢者の健康づくりへの関心が高まることも重要です。 (今後に向けて) 高齢化問題を考える機会を作ることとし、介護について学んでゆく。1回で全てを伝えるのではなく、アンケートを取りながら入口の部分や深い内容など伝え方を検討していく。 今後は、認知症介護についての入門講座などを企画していく。

事業名	健康づくり事業③ 健康体操教室活動支援事業
事業費	40,000円
事業概要	(実施内容) 行くっちゃ！おおどの健康体操教室への活動支援。 (実施時期) 令和7年5月～令和8年3月 (参加人数) 200人 (成果) 健康寿命を伸ばすことに意欲のある人が集まり、高齢者の健康づくりに役立っている。大 殿ペタンク大会への参加をきっかけにペタンクの貸出回数も増え、ペタンク体験人口を増やすことにつながっている。 (評価) 高齢者の健康づくりへの関心が高まることや仲間づくりに寄与することが期待できる。 (今後に向けて) 仲間づくりから町内会等で老人クラブ結成へとつながることを期待し、活動支援を継続していく。

事業名	おおどのたすけあいのまちづくり事業
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) おおどのたすけあいのまちづくり事業の情報共有、ボランティア育成活動の支援。 (実施時期) 令和7年4月～令和8年3月 (参加人数) 300人 (成果) 来るっちゃおおどのいきいき広場(つどいの場づくり)「介護予防体操教室」や「調理と会食」などの情報共有。2月5日、2月7日に介護ボランティア育成講座「ボランティアのきっかけづくり講座」を開催。 (評価) ・障害者への心構えと介護機器の取り扱い・認知症の理解と支援。・聴覚障がいへの支援と手話。車椅子の操作・介助、認知症の方への接し方、日常で使える簡単な手話講習を行った。実技体験により、実感できた。 (今後に向けて) 日頃から障がいのある人への配慮を考えながら生活することが大切。「介護ボランティア育成講座」の活動支援を継続するとともに、参加者のニーズに合わせた企画を考えて提案していく。しっかり協議した上で、進めていき協力していく。

(4) 安心・安全

事業名	大殿地区安心安全のつどい事業
事業費	56,751円
事業概要	(実施内容) 安全意識・災害時の意識啓発を目的とした「大殿地区安心安全のつどい」事業の開催。 (実施時期) 令和7年11月9日 (参加人数) 250人 (成果) 大声大会は多くの参加者があった。初期消火体験、非常持ち出しグッズ展示、消防コーナーを実施。消防・警察の協力で、車両展示&撮影会を実施。地域の安心・安全意識を高めることができた。 (評価) つどい事業は部会協議を重ねて企画を練り上げた。部会員スタッフと大殿中OTKも協力してつどいを運営できた。大声大会、消火体験コーナー、消防・警察車両展示撮影コーナーには大勢の参加者があり、消防団、警察署の方のご協力により安心・安全意識を高めることができた。 (今後に向けて) イベントコーナーのスタッフ不足という課題をふまえ、企画運営のやり方を検討していきたい。

事業名	自主防災活動推進事業
事業費	33,491円
事業概要	(実施内容) 自主防災活動推進、住民の防災意識を高めることを目的とした「炊き出し&ウォークラリー」を開催した。 (実施時期) 令和8年2月23日 (参加人数) 130人 (成果) 地域内をみんなでワイワイ歩いてみませんか？チェックポイントで防災クイズを出題します！地域や防災のことを話しながら歩いた後は、みんなであったか〜い豚汁を食べて体も心も温まりましょう！とチラシで呼びかけ、防災とながら見守りをテーマに炊き出し&ウォークラリーを開催した。幼児から高齢者まで、運営サポートと合わせて約130名が参加しました。地域の方のピアノ生演奏でのラジオ体操からスタートし、約80名がチェックポイントで防災クイズにチャレンジするウォークラリーを実施！ (評価) あんぜん部会で事前の準備をしっかりとしたので、当日はスムーズに進行できた。色々な体験発表を通して、参加者が防災意識を高めることができた。 (今後に向けて) 「ながら見守りの町大殿」と「あいさつ運動」の旗を掲げて練り歩いた。(ご当地ヒーロー白狐刑事ジコンナも一緒に大殿をウォーク！) 今後も周知していきたい。

事業名	地域見守り活動事業
事業費	122,411円
	(実施内容) 部会と大殿小PTAの共催で見守り関係団体懇談会を開催した。 (実施時期) 令和7年9月4日、令和8年2月5日 (参加人数) 66人
事業概要	(成果) 第11回懇談会: 大殿地域での子どもたちの見守り方法に関する情報や課題の共有等を目的として懇談会を開催し、「ながら見守りの日」に見守りを実践しようというテーマで協議した。4団体によるこれまでの見守り事例を発表し、その後のグループ協議では、「ながら見守りの日」に、どうしたら多くの方に協力して頂けるか、ということ話を合った。①繰り返しながら実施②団体のSNS、HP等で発信、小学校及び中学校での一斉メールで発信、チラシの活用③いかにして地域の方に、ながら見守りの大切さや効果を知っていただくか④報道に記者発表をし、取材場所設定(登校時・下校時)するなどの意見が出た。 第12回懇談会では、「ながら見守りの日」を実践してみようというテーマでグループ協議を行なった。 ・名前で挨拶。繋がりが広がる。 ・中学生は見守る側へ。安全意識の向上。わかき学級から帰る子ども達の見守り(時間帯) ・団体内での周知。団体の外への周知。など、意見交換ができた。 (評価) 参加団体が増えていることから見守り活動への期待は高まっている。 (今後に向けて) 「チーム大殿」の視点での懇談会の継続実施。ゆるやかな見守りのルールづくりと実効確保のための協議を深めていきたい。見守りタスキを付け見守り活動を進めていく。

事業名	反射鏡設置事業
事業費	25,330円
事業概要	(実施内容) 各町内会に要望調査を行い、1件(天花町内会)実施。 (実施時期) 令和7年4月～令和8年3月 (参加人数) 33人 (成果) 事業の進捗について情報共有した。 (評価) 町内会からの要望に対して、適切に対応できた。 (今後に向けて) 町内会で危険箇所等の情報共有を行ってもらい、設置に関する要望があれば速やかに対応していく。

(5)環境づくり

事業名	環境整備事業
事業費	99,000円
事業概要	(実施内容) 地域内の環境整備(作業資材費及び処分費) (実施時期) 令和7年5月10日、10月11日 (参加人数) 19人 (成果) 庭木の学校での研修にあわせて環境整備を実施した。 (評価) 研修事業(庭木の学校)への参加者の声からも環境整備への関心は高い。 (今後に向けて) センター定期利用団体の清掃活動との同日開催での作業で、参加者同士の交流を深める工夫をしていく。各町内会の困りごとを手助けし、問題解決していく。

事業名	土木工事(法定外公共物・単市土地改良)平成28年度より市に返還
事業費	-
事業概要	(実施内容) (実施時期) (参加人数) (成果) (評価) (今後に向けて)

(6) 地域個性創出

事業名	伝統文化の保存継承事業
事業費	64,436円
事業概要	(実施内容) 地域のお宝学習会2回と大殿まちあるき
事業概要	(実施時期) 第1回令和7年7月19日、第2回令和7年9月20日、第3回令和8年2月1日 (参加人数) 92人 (成果) ◆第1回「西のお伊勢様 山口大神宮を訪ねる」:神職の松田年通様にご案内いただき、日本で唯一伊勢神宮から勧請されて造られた特別な建物、下宮・内宮を見学。独特な建築様式など初めて知る事ばかりでメモを取りながら神職の丁寧な解説を熱心に拝聴した。 ◆第2回「大殿の魅力再発見!」:元大殿地域交流センター所長近藤義則様を講師に招き開催しました。現在、おおどのゆーちゅー部隊として活動され、大殿の魅力を地域に発信されています。大殿は長い歴史の中で庶民に息づく独自の風習や行事など多くの魅力に溢れている。 町内会名の不思議、山口の名のルーツを知る手がかりとは?「庚申塔」って何?などスライドショーで大殿の歴史を深堀する学習会となった。 ◆第3回「幕末維新期の萬代家を中心に」:高杉晋作 久坂玄瑞. 激動の時代若者達の熱い風が大殿を吹き抜けた! 大内時代後四百年の沈黙を経て、大殿が再び日本を動かした!『大殿ヒストリート維新が駆けめぐる! Vol.1幕末維新期の萬代家を中心に』を テーマに、十朋亭維新館学芸員の立石智章様を講師に招き開催。 幕末期、長州藩主毛利敬親が、萩から山口へ藩庁を移した際、十朋亭が藩の役人たちの宿泊所となり、当主・萬代利兵衛が志士達の活動を支援していたことから多くの来客があったことなどお話いただいた。
事業概要	(評価) 大殿地域には、歴史深いお宝がたくさんある。日頃は入ることのできない場所や、宮司さんの説明は大変好評だった。 (今後に向けて) アンケート結果を参考にして、この事業を地域に広めていきたい。地域の皆さんの参加が大いに期待される。参加したくなる募集告知の打ち方も検討していきたい。今後も、地域のお宝(歴史、文化、祭り)を再発見・発信し続け大殿地域の魅力を伝え、学びたいと思っている。

事業名	地域活性化事業
事業費	72,569円
事業概要	(実施内容) 体育推進員の研修参加支援を行い伝達講習として部会でクッブ練習会を実施した。 (実施時期) 令和7年5月～令和8年3月 (参加人数) 73人 (成果) 研修参加支援についての部会協議により体育振興に関する情報共有ができた。 (評価) 推進種目を決めたことで、体育推進員さん等の研修参加を促す支援につながった。 (今後に向けて) 体育委員会が開催するクッブ大会に、にぎわい部会が参加して、ニュースポーツを地域に広めていきたい。